



学校だより

福生一小ホームページが新しくなりました。
<https://fussa-le.hs.fussa.school/>

令和6年1月9日
1月号
福生市立福生第一小学校
校長 高瀬 智子



令和6年 実りの年に



校長 高瀬 智子

はじめに、令和6年能登半島地震において、亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

令和6年が始まりました。今年は甲辰（きのえたつ）年です。十干十二支は、同じものは60年に一度訪れます。「甲」は、草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増し増えていくという意味があるそうです。また、「辰」は、準備した結果が実を結ぶとも言われています。

60年前の1964年には、東京オリンピックの開催、東京モノレール開業、東海道新幹線開業、日本武道館開業、太平洋ケーブル開通など、様々な出来事がありました。今年はどんなことが実を結んでいくでしょうか。この1年をじっくりと見ていきたいと思えます。

さて、新しい年を迎えるにあたり、改めて、子どもたちの学びについてお示しします。現在、平成29年に告示された学習指導要領に基づいて、教育活動を行っております。学習指導要領は、概ね10年ごとに改訂され、時代に応じた教育活動が行われるようにしています。現行の学習指導要領が小学校で全面实施となったのは、令和2年度からであり、現在4年目を迎えています。

学校の教育活動は、将来の社会の担い手である子どもたちが、よりよい社会と幸福な人生の作り手となる力を身に付けられるようにすることが重要であると捉え、行われています。

小学校であれば、小学校段階で身に付けることが求められる、知識や技能、思考力・判断力・表現力を身に付け、そして、学びに向かう力や人間性等の涵養を図っています。毎日の授業や行事、学級での係活動、委員会活動、クラブ活動など学校で行う全ての活動を通して、日々行われています。

子どもたちにとっては、うまくいくこともあれば、なかなか思うようにいかないこともあると思いますが、様々な経験を積み重ね、一人一人の子どもたちは着実に成長しています。

学校で子どもたちは、同年齢あるいは異年齢の他の子どもたちと一緒に過ごすことで、学びを得ています。学校は、子どもにとっての社会であるとも言えます。子どもたちが、その社会ともいえる学校で生活し、力を発揮していくには、心の安定が大切であり、その心の安定の土台として、家庭による力が必要となります。御家庭では、お子さんを励ましつつ、社会の中で必要となるマナーやルールなども併せて折に触れお話しいたきたいと思えます。

本校は創立150周年の節目を終え、新たに151年目を迎えます。これまで様々な取り組んできたことが、更に実を結び、「子どもたちが成長を実感できる」教育活動を実施できるようにしたいと考えています。

そのためには、学校運営協議会、家庭、地域との連携のもと進めていくことが重要です。福生市のスローガンに「こどもまんなか ふっさ」がありますが、次の時代を担っていく子どもたち一人一人が確実に力を伸ばしていけるよう、地域とともにある学校を一層進め、教育活動を展開していきます。

御協力よろしくお願ひいたします。

今日から3学期が始まります。3学期はまとめの時期であると同時に次の学年への準備の期間でもあります。6年生は小学校6年間の総まとめの時期であり、卒業、そして、中学生への意識をもつ時期です。1年生から5年生も次の学年へ意識を高めていく大切な学期です。

また、長期のお休みの後は、お子さんの中には久しぶりの学校ということに少し不安を感じていることがあるかもしれません。お子さんの様子を見ていただき、気になることがありましたらお知らせください。